

芸術・美術科

学習指導計画



教科：芸術
科目：美術ⅠⅡⅢ

美術の学習目標

作品制作をとおして、自己の美的感性を培い、柔軟で清新な構想力を養うとともに、造形技術・能力を身につけ、制作の喜びを味わう。

美的技術・能力の一層の陶冶と、自己表現への契機からその実現へと至る過程を、作品完成として結晶させる。

自他の作品鑑賞によって、表現の普遍性・複合性を認識し、他者理解、さらに異文化理解への端緒とする。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）			
美術Ⅰ	1	必選	2	高校美術1（日本文教出版）				
美術Ⅱ	2	必選	2	高校美術2（日本文教出版）				
美術Ⅲ	3	自選	2	高校美術3（日本文教出版）				
学習の留意点	1年では造形表現の基礎力となる、デッサン力をしっかりと身につけ、その発展的学習として油彩による絵画表現を学ぶ。また、色彩についての学習を行い、平面構成の課題を通してデザインの基礎を学ぶ。2年の自由制作では、個々の生徒に応じた指導を行い、完成度の高い作品が作れるようにする。3年生は受験に必要なデッサン力を身につけられるよう、進路希望に応じた指導を行う。							
月	1年			2年		3年		
前期	4	静物デッサン			共通課題制作 個人年間計画による 課題別自由制作		静物デッサン	
	5						石膏または人物デッサン	
	6	静物油彩			作品発表・講評会 講評会メモ提出		イメージデッサンなど	
	7							
後期	9				自由制作		志望専門分野に応じた課題制作もしくは自由制作	
	10	静物油彩続き						
	11	色彩演習			作品発表・講評会 講評会メモ提出			
	12	平面構成						
	1							
	2							
評価の方法	<p>評価の対象は第一に作品である。各課題毎に完成度の高い作品を求める。授業態度すなわち制作態度・制作過程も、自ずから作品に結晶される。作品に内在する技術というもの、つまり、上手へたという事実もあるが、それと同時に、作者の制作への密度「こだわり」も問うていきたい。</p> <p>高校生の作品として求められる一定の「クオリティ」というものも問われる。また、発表～プレゼンテーションの工夫なども、評価の対象となることをつけ加えておく。</p>							